

日本科学者会議

第23回総合学術研究集会 in 東京

人間の尊厳と平和で持続可能な社会を求めて—科学者と市民の共同を探求する—

オンライン開催・2020年12月4日(金)～6日(日)

<http://www.jsa.gr.jp/05event/sougaku.htm>

オンライン企画

分科会 B1 「新型コロナ禍における 女性研究者・技術者の困難と課題」への ご案内

12月5日(土)15:30～18:00



趣旨

新型コロナ禍の感染拡大に伴い、研究・教育環境は激変し、とりわけ若手研究者や不安定な職にある人々の研究・教育の困難は大きく、正規の職にあっても、リモート授業の負担、実験・実習ができない、調査や海外渡航の中止で研究遂行が難しくなっています。同時に子育て期の女性は、保育園の休園や休校等により二重三重の負担を抱えています。また性的マイノリティの研究者も新たな困難に直面しています。本分科会では4人の話題提供の後、全国からの参加者と交流し、コロナ禍から見えてきた女性研究者・技術者の研究・教育改善を探りたいと思います。

分科会プログラム

座長：峰尾菜生子/小尾晴美

15:30～15:35 座長あいさつ

15:35～15:50 女性研究者・技術者委員会委員長あいさつ 笹倉万里子（岡山大学）

(1) JSA 第15回女性研究者・技術者全国シンポジウムへのお誘い

(2) 結果報告（2020男女共同学協会連絡会「緊急事態宣言による在宅勤務中の科学者・技術者の実態調査年7月15日）調査報告」を読んで

15:50～16:05 報告(1) 衣川清子（法政大学等非常勤講師、大学等教職員組合委員長）
コロナ禍のもとでの非正規教員の現状

- 16:05～16:20 報告(2) 長谷川千春(立命館大学)
臨時休校・登園自粛下における家事育児負担と大学業務の加重化
- 16:20～16:35 報告(3) 杉田真衣(東京都立大学)
コロナ禍における大学の状況—教員の立場から
- 16:35～16:50 報告(4) 中島雅登(東京支部・個人会員)
ダブルマイノリティの在野研究者の困難とコロナ禍
- 16:50～17:00 <休憩>
- 17:00～17:50 参加者からの感想・報告・提言など
- 17:50～18:00 **まとめ** 中島明子(分科会設置責任者・和洋女子大学名誉教授)

こちらどうぞ **関連企画**

特別報告 I 12月4日(金) 16:00～17:30 竹信三恵子(ジャーナリスト・和光大学名誉教授)
貧困・格差社会を切り拓くジェンダー平等

文化企画 12月5日(土) 19:00～20:30 小林 緑(国立音楽大学名誉教授・女性作曲家研究)
平和とジェンダーのレクチャー・コンサート

いずれもオンライン企画です。

○参加申し込み
参加費無料

日本科学者会議総合学術研究集会

<http://www.jsa.gr.jp/05event/sougaku.htm>

サイトを開いて「参加申し込みフォーム」をクリックしてください。

特別報告、文化企画、その他の分科会等も参加できます。

登録いただいた方に後日、参加(接続)方法のご案内をお送りします。

ご質問は以下へ 石渡真理子 i-mariko@jcom.home.ne.jp

イラスト Norico Watanabe